

三菱自動車、新型クロスカントリーSUV『パジェロ』をタイで発売 ～タイを起点に世界約100の国と地域へ順次展開～

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）は、新型クロスカントリーSUV『パジェロ』を10月19日（月）にタイで発売しました。新型『パジェロ』は三菱・モーターズ・タイランド（MMTh）のレムチャバン工場で生産し、今年度はタイ国内のほか、オーストラリア、日本に向けて出荷。オーストラリアと日本では12月中旬より販売を開始します。来年度からは中東や中南米など世界約100の国と地域へ順次展開していく計画です。



新型『パジェロ』

新型『パジェロ』は、本格的な四輪駆動車ならではの優れた悪路走破性と高い信頼耐久性に、乗用車並みの快適性と扱いやすさを両立させるという商品思想を継承・進化させ、新たにフラッグシップモデルにふさわしい上質さを兼ね備えたクロスカントリーSUVです。生産を担うレムチャバン工場は、タイ東部チョンブリ県のレムチャバン工業団地に位置する当社のグローバル生産・輸出戦略を支える中核拠点です。長年にわたりラダーフレームモデルを生産してきた経験と技術を活かし、上質に進化した新型『パジェロ』を世界のお客様へお届けします。

当社代表執行役社長兼 COO 岸浦恵介コメント

「新型『パジェロ』を世界に先駆けてタイで発売できることを大変嬉しく思います。タイは当社にとって重要な市場であるとともに、生産・輸出の中核拠点です。新型『パジェロ』は三菱自動車を象徴するフラッグシップモデルであり、タイ市場における最上位クラスのクロスカントリーSUVです。今後もタイから世界のお客様へ魅力ある商品をお届けし、お客様の期待を超える価値を提供してまいります。」

以上

三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点をもち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html>